



年 組 名前

道新でワークシート

10代投票率向上へ啓発

道選管根室支所 チラシ、蛍光ペン配布



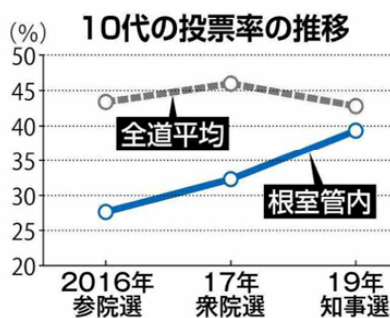
【根室】21日投票の参院選で、道選管根室支所は若者の投票率を上げようと啓発に力を入れている。選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられた2016年の前回参院選は、根室管内の10代（18歳、19歳）の投票率は27・64%で、全道平均の43・38%を大きく下回った。IIグラフII。同支所は10代を中心とした若年層に投票への積極的な参加を呼び掛けた」と話している。

管内の10代投票率は、前回参院選（道選挙区）が18歳28・46%、19歳26・76%で、いずれも全道平均（18歳46・73%、19歳40・03%）を大きく下回った。17年衆院選（小選挙区）でも管内の10代投票率は32・32%で、全道平均45・97%と差がついた。今年4月の知事選では管内の10代投票率は39・33%と上昇したものの、なお全道平均42・80%を下回っている。

道選管根室支所は11、17日、1市4町の高校や農業組合、漁業組合、ねむろ港まつりの会場、根室市内のスーパ―前などで啓発活動を展開。特に新たに有権者になった高校3年生に対しては、投票日の日付を周知するポケットティッシュやチラシ、蛍光ペンなどの啓発グッズを配布して投票への参加を促す。

根室支所の担当者は「10代の投票率が全道平均よりも低いので管内の啓発に力を入れたい。ぜひ投票してもらいたい」と話している。

(堀井友二)



2019年7月13日(土) 朝刊 釧路・根室版 16面 (記事は再編集しています)

①過去3回の選挙における10代の投票率についての説明で、正しくないものをア～エから一つ選びなさい。

- ア 2016年の選挙では、全道と根室管内の10代の投票率に15%以上の差があった。
- イ 過去3回の選挙では、根室管内の10代の投票率は上昇してきている。
- ウ 全道と根室管内の10代の投票率の差は、だんだんと縮まってきている。
- エ 全道の10代の投票率が一番高いのは2019年の42.80%である。

②見出しにある「啓発」は、「人が気づかないことを、教えわからせること」という意味ですが、ここでは何を目的として啓発活動を行っているのですか。十字程度で答えなさい。